

第1回 マイセルフ品川プラン策定検討委員会 議事要旨

日 時：平成30年6月8日（金）午後3時～5時

場 所：品川区第2庁舎253会議室

出席者：川眞田嘉壽子、市川美知、田中千草、尾崎裕美子、松岡建志、
飯沼幹子、人見有美、村田丈一（敬称略）

事務局：榎本総務部長、島袋人権啓発課長、男女共同参画担当村山・三澤、同和対策担当平田

資 料：資料1 「マイセルフ品川プラン～誰もが自分らしく～」の枠組み（案）他

資料2 策定スケジュール

冊子 品川区男女共同参画に関する区民意識・事業所状況調査報告書

冊子 同 概要版

議事内容：

1 総務部長挨拶

2 委員長挨拶

委員長より挨拶。

委員長より傍聴の取扱、議事要旨の公開、資料の公開について確認（異議なし）。

本日は、傍聴申請無し。

3 委員紹介と各委員より挨拶

4 計画の趣旨、スケジュール 等

事務局より資料1・2により、計画の枠組み、方向、全体像、体系の案、スケジュールを説明。

「品川区男女共同参画に関する区民意識・事業所状況調査」について説明。

5 意見交換、質疑

基本理念、基本的な視点、基本目標、全体像について意見交換し、数値目標、中間見直しに関して提案がなされた。

○基本理念について：

- ・マイセルフ品川プランは男女共同参画を基本にしてつくっていることからすると、「男女共同参画」に関する言葉がないと何の計画なのかぼやけているように思う。セクシュアル・マイノリティも「男女共同参画」の「男女」に入りうるが、「ジェンダー」を使うとすべての点にとって良いと思う。
- ・「男女共同参画」といった場合も、意味としては性別にこだわらない「男女」として使うことで、つくっている側が分かれば良い。「ジェンダーバランスによる格差を埋める」や「ジェンダーから自由にされ」など、これからに向けてより良い文言を考えていけたらと思う。
- ・この基本理念はだれに向けてのものなのか、なるべく多くの人を包括して理解していただく観点が必要だと思う。区民に向けての基本理念であることを踏み外してはいけない。
- ・計画や男女共同参画センターでは、ジェンダーということに関する多様性が一番のテーマだと

思うため、「ジェンダーに関わりなく」とか、「性別に関わりなく」などの性という意味を含む言葉を入れるだけでも伝わるように思う。

- ・事務局：「区民一人ひとりが、互いに人権を尊重し、多様な生き方に配慮しつつ、責任を分かち合い、能力と個性を發揮して、誰もが自分らしく、いきいきと安心して暮らせる男女共同参画社会の実現」とすることが考えられる。

○基本目標について

- ・基本目標Ⅱに「セクシュアル・ハラスメントの防止」が入っているが、基本目標が「配偶者等の暴力の防止」となっているため、中にセクシュアル・ハラスメントについて書いてあることが読む人に分かるか。
- ・「セクシュアル・ハラスメントの防止」だけでなく「性暴力の防止」も基本目標Ⅰの人権の方に入るのではないか。
- ・「Ⅲ－２ 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの推進」に「（１）ワーク・ライフ・バランスの普及」がありますが、考え方が普及していないのは家庭にいる人だと思うので、働く場だけではないと思う。
- ・事務局：「３ セクシュアル・ハラスメントの防止」と「４ 性暴力の防止」を基本目標Ⅰに移動するか、基本目標Ⅱのタイトルを「あらゆる暴力の防止」などとして、体系はそのままとする案が考えられる。「（１）ワーク・ライフ・バランスの普及」を「Ⅲ－１ 女性の活躍への支援」の具体的施策に入れ込むか、施策として一本立てる案が考えられる。

○全体像について

- ・３つの計画がそれぞれどう関連づいているのかが読み取れないため、計画の関連性が文章でも分かるとうい。そうするとそれぞれの計画の実施主体が動きやすくなると思う。
- ・事務局：マイセルフ品川プラン＝男女共同参画のための行動計画（第５次）とすれば、配偶者暴力対策基本計画と女性活躍推進計画の２つの計画を包含しているということで良いかと思うが、３つの計画でマイセルフ品川プランとするならば、全体像で、男女共同参画のための行動計画（第５次）がどこに当たるのかを明記することが考えられる。

○数値目標と中間見直しについて

- ・数値目標は計画をチェックするためには不可欠だと思う。具体的にどういう指標で表すのか工夫して、どこが実施主体となるのか確認できるものだと分かりやすいと思う。
- ・品川区行動計画推進会議では、行動計画の充実の議論については成果を出してきたと思うが、全体としてどう評価して進めるかについて、軸になる指標がないために、個人的な印象でしか推進の状況が示せなかったのは、今後の課題だと思う。
- ・計画期間として１０年は長いと思うので、少なくとも５年で中間見直しができるような仕組みを検討しても良いと思う。変化の激しい時代でもあり、指標をつくって５年で中間的見直しを入れて後半の計画期間を充実していくこともあると思う。アンケート調査の活用も考えられる。
- ・事務局：指標は何の施策をもとに評価するかがわかりやすくなるので、今回の計画では出していききたい。見直しについては、できたもの、できないもの、さらに進めるものなどと評価をしつつ進めていけたらいいと思う。

６次 回 ９月１４日（金）午後３時から、男女共同参画センター会議室にて開催。